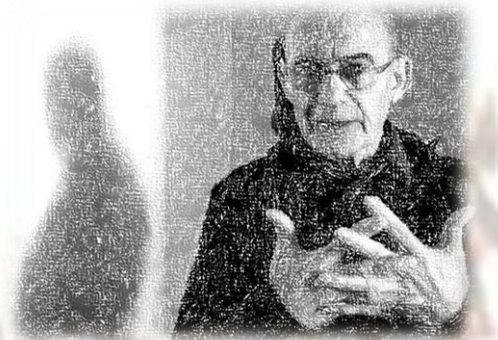


「グローバル化時代における現代思想」(CPAG)  
若手研究者ワークショップ

# ジャン＝リュック・ナンシー 『フクシマの後で』から出発して



「フクシマの後で」思考すること——  
東京大学科研費研究プロジェクト「グローバル化時代における現代思想」始動に合わせ、若手哲学研究者らによるワークショップ第一弾として、ジャン＝リュック・ナンシー『フクシマの後で——破局、技術、民主主義』（以文社、2011年）を起点に討議する。

2013年2月23日(土) 14:00-17:00  
東京大学駒場キャンパス 10号館 301会議室

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02\\_01\\_09\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_09_j.html)

司会 **中島 隆博** (東京大学CPAG研究代表)

発表 **渡名喜 庸哲** (東洋大学IRCP研究助手)

**柿並 良佑** (東京大学CPAG特任研究員)

**星野 太** (東京大学UTCP特任助教)

**佐藤 嘉幸** (筑波大学専任講師)

主催 東京大学「グローバル化時代における現代思想——概念マップの再構築(CPAG)」

共催 東京大学「共生のための国際哲学研究センター(UTCP)」  
東洋大学「国際哲学研究センター(IRCP)」



お問い合わせ cpag@ioc.u-tokyo.ac.jp